



平成 29 年 9 月 15 日

報道各位

【記者発表会のお知らせ 9 月 26 日 15:00～ @NS 虎ノ門ビル】
『ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS』入賞作品を発表
～ 総務大臣賞／ACC グランプリ作品上映など ～

一般社団法人 全日本シーエム放送連盟(略称：ACC、東京都港区、理事長：高田 坦史)は、9 月 26 日(火)15 時より、NS 虎ノ門ビル 11 階「AP 新橋虎ノ門」会議室(東京都港区)にて、日本最大級のアワード「2017 57th ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS」の入賞作品記者発表会を、下記の要領にて開催いたします。

ご多忙中とは存じますが、万障お繰り合わせの上、ご出席賜りますようお願い申し上げます。

■ 「2017 57th ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS」

<http://www.acc-awards.com/>

【記者発表会について】

前身の「ACC CM FESTIVAL」を継承し、今年で開催 57 回目を迎えた「2017 57th ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS」。2017 年度は、既存のフィルム部門(A カテゴリー・テレビ CM/B カテゴリー・Online Film)、ラジオ CM 部門、マーケティング・エフェクティブネス部門、インタラクティブ部門の 4 部門に、新設のメディアクリエイティブ部門、クリエイティブイノベーション部門を加えた、全 6 部門にて作品を募集し、合計で 2,641 本の応募がありました。

記者発表会当日は、各部門の「総務大臣賞／ACC グランプリ」作品の上映ならびに、審査委員長(部門により審査委員)による審査講評および、質疑応答を行います。

【開催概要】

●日 時 : 2017 年 9 月 26 日(火) 15:00～16:30 (受付開始:14:45)

●会 場 : NS 虎ノ門ビル 11 階 「AP 新橋虎ノ門」 会議室

〒105-0003 東京都港区西新橋 1-6-15 NS 虎ノ門ビル (日本酒造虎ノ門ビル)

※ACC 事務局ではございませんので、ご注意ください。

●アクセス : JR「新橋駅」日比谷口から徒歩 8 分

都営三田線「内幸町駅」A4a 出口から徒歩 3 分

東京メトロ銀座線「虎ノ門駅」9 番出口から徒歩 3 分

東京メトロ千代田線「霞ヶ関駅」C3 出口から徒歩 4 分

●地 図 : <https://www.tc-forum.co.jp/kanto-area/ap-shinbashitoranomom/tr-base/>



【出席者：各部門審査委員長】

澤本 嘉光 氏（フィルム部門／電通）

嶋 浩一郎 氏（ラジオ CM 部門／博報堂ケトル）

矢野 絹子 氏（マーケティング・エフェクティブネス部門／KDDI）

須田 和博 氏（インタラクティブ部門／博報堂）

和田 直樹 氏（メディアクリエイティブ部門／トヨタマーケティングジャパン）※審査委員長代理

※クリエイティブイノベーション部門の審査委員長は欠席です。

また、都合により出席者は変更になる可能性がございます。予めご了承下さい。

【お申込方法】

下記サイトの申込フォームにご記入の上、送信してください。

■申込期日：2017年9月25日（月）15：00時まで

<申込フォーム>

<https://pro.form-mailer.jp/fms/0f8ab3fa130084>

【ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS とは】

「ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS」は、テレビ、ラジオ CM の質的向上を目的に、1961 年より開催されてきた広告賞「ACC CM FESTIVAL」を前身とし、2017 年よりその枠を大きく拡げ、あらゆる領域におけるクリエイティブを対象としたアワードにリニューアルしました。

2010 年にマーケティング・エフェクティブネス（ME）部門、2014 年にインタラクティブ部門、2017 年に、メディアクリエイティブ部門とクリエイティブイノベーション部門を創設。名実ともに、日本最大級のアワードとして広く認知されており、総務大臣賞/ACC グランプリは、クリエイティブ業界で活躍する関係者の大きな目標となっています。

【ACC とは】

一般社団法人 全日本シーエム放送連盟（ACC）は、よい CM の制作と放送の実現に寄与することを目的として、1960 年に CM 合同研究会として設立。2013 年に一般社団法人へと移行しました。

ACC は、広告主・広告会社・制作会社・放送会社の 4 業種のメンバーを中心に構成され、業種の枠を超え、グローバルな視点から日本のクリエイティビティの発展に貢献すべく活動しています。